

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月27日

上場取引所 JQ

上場会社名 八千代工業株式会社

コード番号 7298 URL <http://www.yachiyo-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 白石 基厚

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 北村 哲也

TEL 04-2955-1211

四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

配当支払開始予定日

平成20年11月25日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	152,161	—	3,498	—	3,166	—	1,966	—
20年3月期第2四半期	164,432	△5.0	5,100	△5.4	4,910	△3.5	2,413	△8.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	81.88	—
20年3月期第2四半期	100.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	133,496	—	49,225	—	33.6	—	1,870.19	—
20年3月期	126,844	—	50,397	—	36.3	—	1,916.98	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 44,910百万円 20年3月期 46,033百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭				
20年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
21年3月期	—	15.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	3.2	9,100	3.4	8,370	3.0	4,800	△34.8	199.89

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 2社(社名 リミテッド) 除外 1社(社名)
 ゴウシ インディア オートパーツ プライベート
 ヤチヨ インディア マニュファクチャリング
 プライベート リミテッド

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご参照ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご参照ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 24,042,700株 20年3月期 24,042,700株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 28,953株 20年3月期 28,901株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 24,013,755株 20年3月期第2四半期 24,013,935株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であります。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おください。

なお、上記予想に関する事項は、3ページ「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間の経済状況は、世界各地で原油価格や原材料価格が高値で推移するなか、国内においては、個人消費は横ばいとなっているものの、設備投資に弱さがみられるなど、景気は弱含みの状態で推移いたしました。一方、海外においては、米国の景気は、金融危機の影響により景気の後退局面入りとなりました。アジア諸国の景気は、中国を中心に拡大が続いているものの、そのペースはやや減速いたしました。また、欧州主要国の景気は弱含みとなりました。

このような情勢のもと、当社グループは、お客様のニーズに迅速かつ的確に応えるため、技術開発及び生産体制の強化など企業体質の強化に努めてまいりました。技術開発面では、引き続き積極的な研究開発活動を展開し、生産面では、国内外の生産体質改革をさらに推進するとともに、各地域のニーズにあった増量対応を図ってまいりました。また、品質面では引き続き桁違い品質の実現に向けて、取り組んでまいりました。

当第2四半期連結会計期間の売上高は、780億5千万円（前年同期比1.8%減）となりました。

利益につきましては、国内における二輪部品等の自動車部品分野での減収に伴う利益の減少、減価償却費の増加及び研究開発費の増加などにより、アジアでの増収に伴う利益の増加や原価改善効果などはあったものの、経常利益は15億3百万円（前年同期比36.6%減）となりました。四半期純利益は8億3千万円（前年同期比24.5%減）となりました。

分野別売上高の状況

（自動車部品分野）

自動車部品分野では、国内においては、二輪部品の受注減や機種構成差などにより、売上高は254億4千2百万円（前年同期比3.2%減）となりました。北米においては、連結子会社であるヤチヨ オブ オンタリオ マニュファクチュアリング インコーポレーテッド（カナダ）、エー ワイ マニュファクチュアリング リミテッド（米国）及びユー エス ヤチヨ インコーポレーテッド（米国）における受注減や為替換算上の減少などにより、売上高は112億6千4百万円（前年同期比21.7%減）となりました。アジアにおいては、連結子会社である八千代工業（中山）有限公司（中国）、八千代工業（武漢）有限公司（中国）及びサイアム ゴウシ マニュファクチュアリング カンパニー リミテッド（タイ）における受注増などにより、為替換算上の減少はあったものの、売上高は107億6千2百万円（前年同期比16.4%増）となりました。

この結果、自動車部品分野の売上高合計は474億7千万円（前年同期比4.9%減）となりました。

（自動車組立分野）

自動車組立分野では、機種構成差などにより、売上高は305億1千3百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

（その他の分野）

その他の分野の売上高は6千6百万円（前年同期比37.0%減）となりました。

なお、平成21年3月期第1四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成21年3月期第1四半期決算短信（平成20年7月25日開示）をご参照ください。また、前年同期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、1,334億9千6百万円と、前年度に比べ66億5千1百万円の増加となりました。

増加した要因は、たな卸資産の減少があったものの、受取手形及び売掛金や有形固定資産が増加したことなどによるものであります。

負債合計は、842億7千万円と、前年度に比べ78億2千3百万円の増加となりました。

増加した要因は、未払法人税等の減少があったものの、支払手形及び買掛金や短期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、492億2千5百万円と、前年度に比べ11億7千2百万円の減少となりました。

減少した要因は、利益剰余金の増加があったものの、為替換算レート差による為替換算調整勘定が減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、有形固定資産の取得71億3千6百万円、法人税等の支払額4億8千8百万円などの資金需要及び短期借入金の純減少額3億7千7百万円などがありましたが、税金等調整前四半期純利益13億8千6百万円、減価償却費26億8千4百万円、賞与引当金の増加額14億5百万円、たな卸資産の減少額6億3千万円、長期借入金の純増加額16億6千2百万円などにより、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は46億2千4百万円となり、第1四半期連結会計期間末に比べ8千1百万円減少しました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益13億8千6百万円、減価償却費26億8千4百万円、賞与引当金の増加額14億5百万円、たな卸資産の減少額6億3千万円などにより、55億9千7百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより、70億7千9百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、短期借入金の純減少額3億7千7百万円などがありましたが、長期借入金の純増加額16億6千2百万円などにより、12億4千万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済状況の見通しにつきましては、世界的に景気後退の懸念が強まるなか、国内においても厳しい局面に入りました。また、米国では景気は後退しており、中国をはじめとするアジア諸国においては、景気の拡大が減速するものと予想されます。さらに、世界を取り巻くさまざまな情勢のほか、エネルギー・原材料高に一服感がみられるものの、円高基調の為替動向、米国に端を発した世界的な金融危機の影響などにより、景気の状態がさらに厳しいものとなると思われます。

当社グループを取り巻く自動車業界におきましても、コスト、品質面での生き残りをかけたグローバルベースでの競争が加速し、一層厳しさを増すものと予想されます。

このような状況の中で、現時点における通期の連結業績の見通しにつきましては、上期の実績を反映したこと及び固定資産除却損や少数株主利益の減少見込みなどにより、平成20年3月期決算短信(平成20年4月25日開示)における業績予想から変更しております。

<連結業績の見通し>

売上高	330,000百万円	(前年度比 3.2%増)
営業利益	9,100百万円	(前年度比 3.4%増)
経常利益	8,370百万円	(前年度比 3.0%増)
当期純利益	4,800百万円	(前年度比 34.8%減)

為替レートにつきましては、下期は1米ドル100円、通期平均で103円を予想しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

ゴウシ インディア オートパーツ プライベート リミテッドは、当連結会計年度中に操業を開始する予定であることから、重要性が増したため、また、ヤチヨ インディア マニュファクチュアリング プライベート リミテッドは、平成20年4月に設立されたため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

なお、ヤチヨ インディア マニュファクチュアリング プライベート リミテッドは、平成20年9月に増資を行った結果、当社の特定子会社となっております。

また、特定子会社のほかに、株式会社ワイジーテックを新たに設立したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

当社及び国内連結子会社は、通常の販売目的で保有するたな卸資産について、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ120,389千円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

③ リース取引に関する会計基準の適用

当社及び国内連結子会社は、所有権移転外ファイナンス・リース取引について、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

ただし、平成20年3月31日以前に取引を開始した所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

④ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,633,787	3,785,334
受取手形及び売掛金	35,943,513	33,083,916
製品	750,619	1,044,894
原材料	3,509,240	3,951,586
仕掛品	2,751,239	3,318,628
その他	7,237,911	6,730,814
流動資産合計	54,826,311	51,915,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,730,136	39,720,279
機械装置及び運搬具	84,546,494	80,451,471
工具、器具及び備品	38,878,807	38,506,400
土地	13,326,081	13,251,067
建設仮勘定	8,584,464	9,376,811
減価償却累計額	△114,138,888	△114,441,393
有形固定資産合計	70,927,096	66,864,637
無形固定資産		
のれん	1,578,295	1,721,776
その他	335,548	353,062
無形固定資産合計	1,913,844	2,074,839
投資その他の資産	5,828,872	5,990,337
固定資産合計	78,669,813	74,929,813
資産合計	133,496,125	126,844,989

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成20年9月30日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,126,152	30,379,689
短期借入金	21,365,638	13,087,850
1年内返済予定の長期借入金	4,745,600	5,664,822
未払法人税等	297,216	3,325,874
賞与引当金	2,462,555	2,449,273
その他	11,576,961	11,600,415
流動負債合計	72,574,124	66,507,925
固定負債		
長期借入金	6,934,861	5,422,270
退職給付引当金	3,875,952	3,565,455
その他	885,930	951,583
固定負債合計	11,696,744	9,939,309
負債合計	84,270,868	76,447,235
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,685,600	3,685,600
資本剰余金	3,504,079	3,504,079
利益剰余金	37,901,419	36,296,238
自己株式	△24,664	△24,604
株主資本合計	45,066,435	43,461,313
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	234,648	279,475
為替換算調整勘定	△390,797	2,293,108
評価・換算差額等合計	△156,148	2,572,583
少数株主持分	4,314,970	4,363,856
純資産合計	49,225,256	50,397,753
負債純資産合計	133,496,125	126,844,989

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	152,161,191
売上原価	142,526,084
売上総利益	9,635,106
販売費及び一般管理費	6,136,353
営業利益	3,498,753
営業外収益	
受取利息	62,975
持分法による投資利益	107,228
その他	93,948
営業外収益合計	264,153
営業外費用	
支払利息	332,218
為替差損	241,562
その他	22,667
営業外費用合計	596,448
経常利益	3,166,457
特別利益	
固定資産売却益	9,347
特別利益合計	9,347
特別損失	
固定資産除却損	248,834
その他	5,954
特別損失合計	254,788
税金等調整前四半期純利益	2,921,016
法人税等	701,445
少数株主利益	253,404
四半期純利益	1,966,166

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	78,050,035
売上原価	73,376,675
売上総利益	4,673,360
販売費及び一般管理費	3,046,817
営業利益	1,626,543
営業外収益	
受取利息	31,016
持分法による投資利益	51,075
その他	40,232
営業外収益合計	122,324
営業外費用	
支払利息	164,276
為替差損	69,897
その他	10,782
営業外費用合計	244,955
経常利益	1,503,911
特別利益	
固定資産売却益	6,265
特別利益合計	6,265
特別損失	
固定資産除却損	122,538
その他	789
特別損失合計	123,328
税金等調整前四半期純利益	1,386,848
法人税等	371,010
少数株主利益	185,811
四半期純利益	830,026

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,921,016
減価償却費	5,224,213
のれん償却額	143,481
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,281
受取利息及び受取配当金	△69,058
支払利息	332,218
持分法による投資損益 (△は益)	△107,228
有形固定資産売却損益 (△は益)	△3,517
有形固定資産除却損	248,834
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,159,430
たな卸資産の増減額 (△は増加)	752,156
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,177,244
その他	265,041
小計	9,738,252
利息及び配当金の受取額	72,173
利息の支払額	△339,592
法人税等の支払額	△3,695,350
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,775,482
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△13,184,796
有形固定資産の売却による収入	39,854
その他	35,284
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,109,657
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,369,681
長期借入れによる収入	3,874,260
長期借入金の返済による支出	△3,247,245
配当金の支払額	△360,206
少数株主への配当金の支払額	△23,787
その他	△77,186
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,535,514
現金及び現金同等物に係る換算差額	△343,666
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	857,673
現金及び現金同等物の期首残高	3,734,739
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	32,568
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,624,981

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める「自動車及びその部品の製造及び販売事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	その他の 地域(千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	56,009,992	11,264,925	10,775,118	—	78,050,035	—	78,050,035
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,321,173	125,098	125,374	—	1,571,646	(1,571,646)	—
計	57,331,165	11,390,024	10,900,492	—	79,621,681	(1,571,646)	78,050,035
営業利益 (又は営業損失)	33,868	664,863	1,017,829	△401	1,716,159	(89,616)	1,626,543

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	その他の 地域(千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	107,051,511	24,171,835	20,937,844	—	152,161,191	—	152,161,191
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,083,800	126,587	307,618	—	3,518,006	(3,518,006)	—
計	110,135,311	24,298,423	21,245,463	—	155,679,198	(3,518,006)	152,161,191
営業利益 (又は営業損失)	357,904	1,303,880	1,962,728	△2,786	3,621,727	(122,974)	3,498,753

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域……………北米：カナダ、米国

アジア：タイ、ベトナム、中国、インド

その他の地域：英国

3 会計方針の変更

「定性的情報・財務諸表等」4(3)②に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、通常の販売目的で保有するたな卸資産について、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、従来と同じ方法によった場合に比べ、「日本」の営業利益は120,389千円減少しております。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	11,264,987	10,461,318	333,430	22,059,737
II 連結売上高(千円)	—	—	—	78,050,035
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.5	13.4	0.4	28.3

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	24,172,018	20,622,816	348,061	45,142,896
II 連結売上高(千円)	—	—	—	152,161,191
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	15.9	13.6	0.2	29.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域……………北米：カナダ、米国

アジア：タイ、ベトナム、中国他

その他の地域：英国他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		百分比 (%)
	金額 (千円)		
I 売上高		164,432,509	100.0
II 売上原価		153,450,082	93.3
売上総利益		10,982,427	6.7
III 販売費及び一般管理費			
1 販売費	1,294,458		
2 一般管理費	4,587,227	5,881,685	3.6
営業利益		5,100,742	3.1
IV 営業外収益			
1 受取利息	72,240		
2 受取配当金	80,951		
3 負ののれん償却額	35,640		
4 持分法による投資利益	50,568		
5 固定資産賃貸料	33,454		
6 その他	46,060	318,916	0.2
V 営業外費用			
1 支払利息	388,982		
2 為替差損	98,593		
3 その他	21,817	509,393	0.3
経常利益		4,910,264	3.0
VI 特別利益			
1 固定資産売却益	6,752	6,752	0.0
VII 特別損失			
1 固定資産売却損	4,209		
2 固定資産除却損	167,420	171,630	0.1
税金等調整前中間純利益		4,745,386	2.9
法人税、住民税及び 事業税	1,383,768		
法人税等調整額	359,716	1,743,485	1.0
少数株主利益		(減算) 588,799	0.4
中間純利益		2,413,101	1.5

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	4,745,386
減価償却費	4,208,351
負ののれん償却額	△35,640
のれん償却額	143,481
賞与引当金の増加額又は減少額(△)	40,425
役員退職慰労引当金の増加額又は減少額(△)	△9,605
退職給付引当金の増加額又は減少額(△)	△33,000
受取利息及び受取配当金	△153,191
支払利息	388,982
持分法による投資利益(△)又は損失	△50,568
有形固定資産売却益	△6,752
有形固定資産売却損	4,209
有形固定資産除却損	167,420
売上債権の増加額(△)又は減少額	3,812,968
たな卸資産の増加額(△)又は減少額	△198,205
仕入債務の増加額又は減少額(△)	△4,219,805
未払消費税等の増加額又は減少額(△)	△276,950
その他	△111,735
小計	8,415,770
利息及び配当金の受取額	127,229
利息の支払額	△354,976
法人税等の支払額	△2,034,076
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,153,946
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△41,332
有形固定資産の取得による支出	△7,146,127
有形固定資産の売却による収入	26,214
投資有価証券の取得による支出	△1,948
貸付けによる支出	△1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,164,194

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額 (千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増額又は純減額(△)	7,186,366
長期借入れによる収入	77,350
長期借入金の返済による支出	△3,863,422
ファイナンス・リース債務の増加額	52,312
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△640,358
配当金の支払額	△360,209
少数株主への配当金の支払額	△23,787
その他	△73
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,428,178
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	457,392
V 現金及び現金同等物の増加額又は減少額(△)	1,875,323
VI 現金及び現金同等物の期首残高	6,959,705
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	8,835,029

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める「自動車及びその部品の製造及び販売事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	その他の 地域(千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	119,509,161	27,121,308	17,802,039	—	164,432,509	—	164,432,509
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,607,858	—	350,672	—	4,958,530	(4,958,530)	—
計	124,117,020	27,121,308	18,152,712	—	169,391,040	(4,958,530)	164,432,509
営業費用	121,906,946	25,696,263	16,410,320	318	164,013,849	(4,682,081)	159,331,767
営業利益 (又は営業損失)	2,210,073	1,425,045	1,742,391	△318	5,377,191	(276,449)	5,100,742

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域……………北米：カナダ、米国
アジア：タイ、ベトナム、中国
その他の地域：英国

【海外売上高】

前中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	27,068,673	17,809,651	180,619	45,058,944
II 連結売上高(千円)	—	—	—	164,432,509
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	16.5	10.8	0.1	27.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域……………北米：カナダ、米国
アジア：タイ、ベトナム、中国他
その他の地域：英国他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。